



交付運用報告書

ハッピーエイジング・ファンド

ハッピーエイジング20 ハッピーエイジング30
ハッピーエイジング40 ハッピーエイジング50
ハッピーエイジング60

追加型投信／内外／資産複合

作成対象期間：2022年7月16日～2023年7月18日

第23期 決算日：2023年7月18日

受益者の
みなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

当ファンドは、日本及び世界各国の株式や公社債を実質的な主要投資対象とし、中長期的に信託財産の着実な成長を目標として運用を行います。当作成期もそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引立て賜りますようお願い申し上げます。

第23期末 2023.7.18

	ハッピーエイジング20	ハッピーエイジング30	ハッピーエイジング40	ハッピーエイジング50	ハッピーエイジング60
基準価額	22,346円	20,822円	18,528円	15,977円	13,284円
純資産総額	19,858百万円	21,009百万円	24,582百万円	10,534百万円	5,407百万円
騰落率*	21.9%	16.2%	10.6%	5.5%	0.7%
期中分配金合計	0円	0円	0円	0円	0円

※ 騰落率は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供することを定めております。運用報告書（全体版）は下記の方法で閲覧いただけます。

なお、ご請求いただいた場合には交付いたしますので、販売会社までお問い合わせください。

▶ 運用報告書（全体版）の閲覧方法



<https://www.sompo-am.co.jp/>
にアクセス

「ファンド検索」等から当ファンドのページを表示して、
閲覧またはダウンロードすることができます。



SOMPOアセットマネジメント

東京都中央区日本橋二丁目2番16号 共立日本橋ビル
お問い合わせ先：リテール営業部

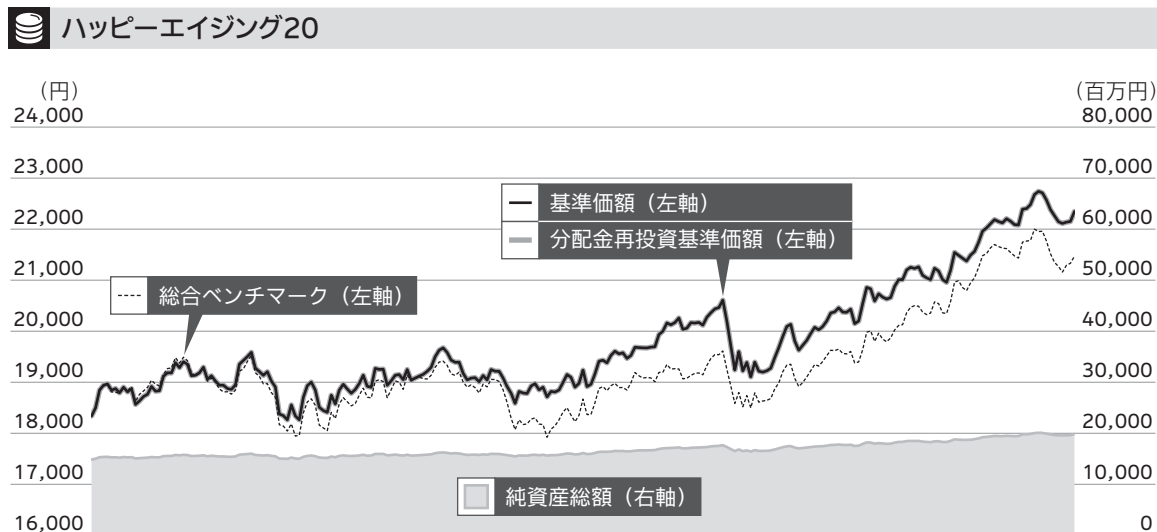
（受付時間 営業日の午前9時～午後5時）



0120-69-5432

運用経過

● 基準価額の推移



第22期末
2022.7.15

第23期末
2023.7.18

第23期首

騰落率

第23期末

基準価額
18,338円

21.9%
(分配金再投資)
(基準価額ベース)

基準価額
22,346円
(期中分配金)
(合計 0円)

- 分配金再投資基準価額および総合ベンチマークの推移は、2022年7月15日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドの総合ベンチマークは、個別資産毎のベンチマーク（運用を評価するための指標）を基準資産配分比率で加重平均して算出した指数で、設定日を10,000として、委託会社にて指数化したものです。

● 基準価額の主な変動要因

ハッピーエイジング20

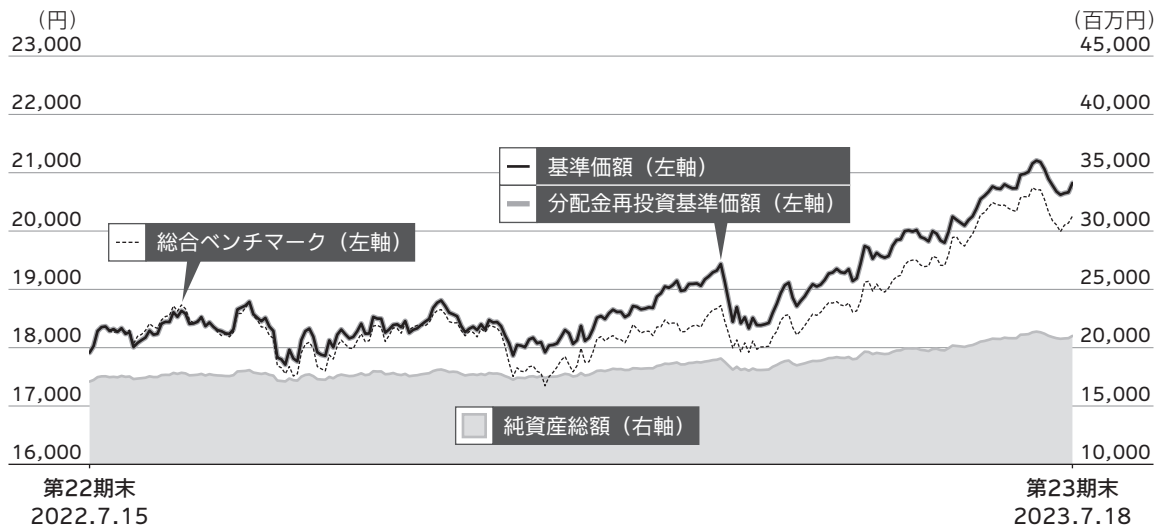
当期間、投資対象である「損保ジャパンTCW外国株式マザーファンド」や「SJAMラージキャップ・パリュール・マザーファンド」、「SJAMスモールキャップ・マザーファンド」の基準価額が上昇したことを主因に、当ファンドの基準価額は上昇しました。

- 本報告書では、ベビーファンドとマザーファンドを下記の様に統一して表記しています。

 ベビーファンド  マザーファンド

● 基準価額の推移

☰ ハッピーエイジング30



第23期首

基準価額

17,915円

騰落率

16.2%

(分配金再投資)
(基準価額ベース)

第23期末

基準価額

20,822円

(期中分配金)
(合計 0円)

- 分配金再投資基準価額および総合ベンチマークの推移は、2022年7月15日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドの総合ベンチマークは、個別資産毎のベンチマーク（運用を評価するための指標）を基準資産配分比率で加重平均して算出した指数で、設定日を10,000として、委託会社にて指数化したものです。

● 基準価額の主な変動要因

ハッピーエイジング30

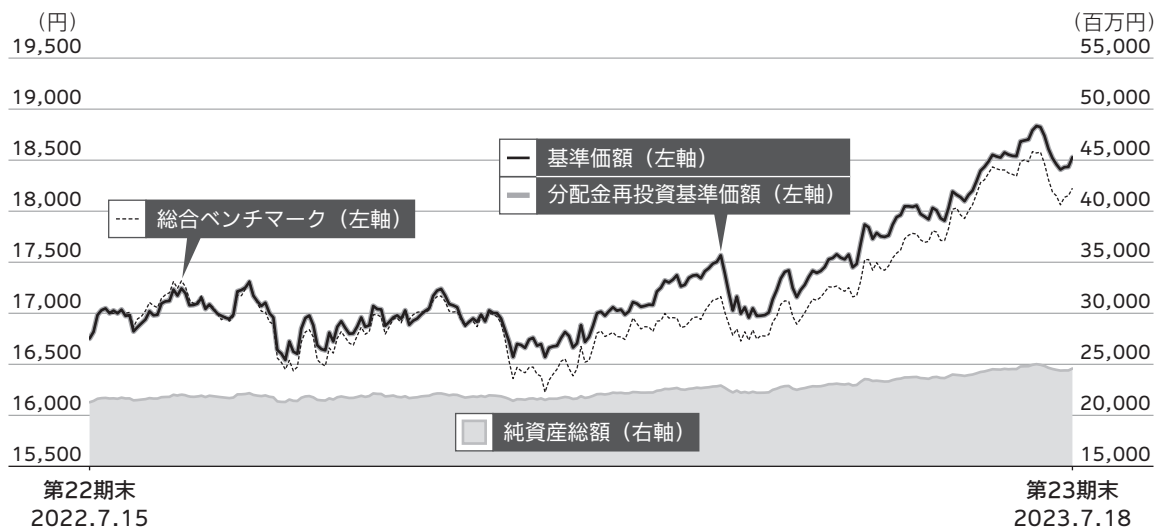
当期間、投資対象である「損保ジャパン T C W 外国株式マザーファンド」や「S J A M ラージキャップ・パリュール・マザーファンド」、「S J A M スモールキャップ・マザーファンド」の基準価額が上昇したことを主因に、当ファンドの基準価額は上昇しました。

- 本報告書では、ベビーファンドとマザーファンドを下記の様に統一して表記しています。

 ベビーファンド  マザーファンド

● 基準価額の推移

☰ ハッピーエイジング40



第23期首

基準価額
16,752円

騰落率

10.6%
(分配金再投資)
(基準価額ベース)

第23期末

基準価額
18,528円
(期中分配金)
(合計 0円)

- 分配金再投資基準価額および総合ベンチマークの推移は、2022年7月15日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドの総合ベンチマークは、個別資産毎のベンチマーク（運用を評価するための指標）を基準資産配分比率で加重平均して算出した指数で、設定日を10,000として、委託会社にて指数化したものです。

● 基準価額の主な変動要因

ハッピーエイジング40

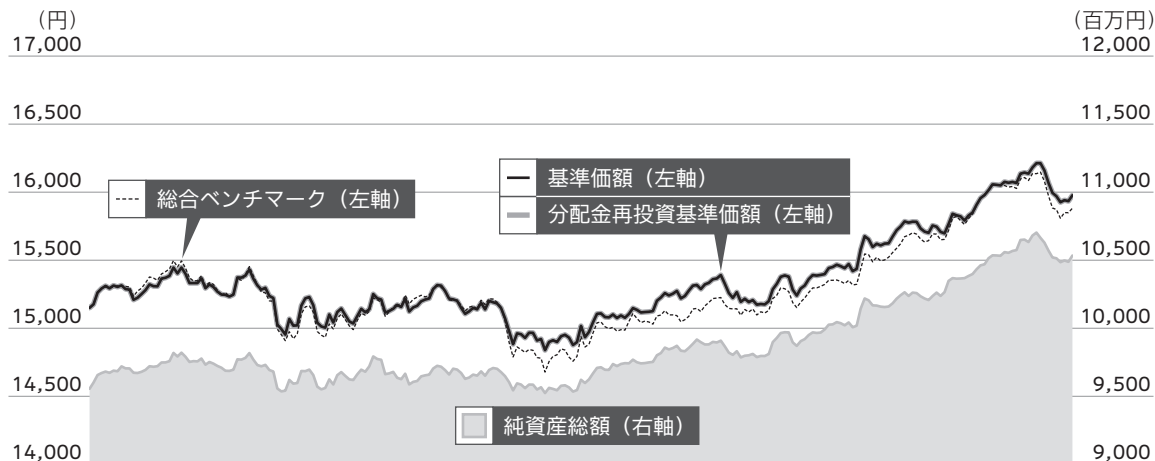
当期間、投資対象である「損保ジャパン T C W外国株式マザーファンド」や「S J A Mラージキャップ・パリュール・マザーファンド」、「S J A Mスモールキャップ・マザーファンド」の基準価額が上昇したことを主因に、当ファンドの基準価額は上昇しました。

- 本報告書では、ベビーファンドとマザーファンドを下記の様に統一して表記しています。

 ベビーファンド  マザーファンド

● 基準価額の推移

☰ ハッピーエイジング50



第22期末
2022.7.15

第23期末
2023.7.18

第23期首

騰落率

第23期末

基準価額
15,150円

5.5%
(分配金再投資)
(基準価額ベース)

基準価額
15,977円
(期中分配金)
(合計 0円)

- 分配金再投資基準価額および総合ベンチマークの推移は、2022年7月15日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドの総合ベンチマークは、個別資産毎のベンチマーク（運用を評価するための指標）を基準資産配分比率で加重平均して算出した指数で、設定日を10,000として、委託会社にて指数化したものです。

● 基準価額の主な変動要因

ハッピーエイジング50

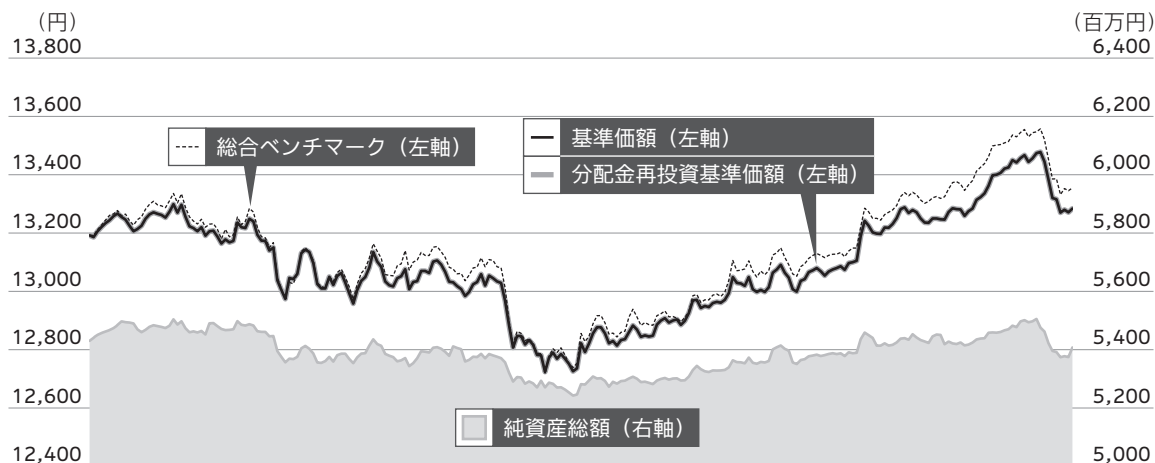
当期間、投資対象である「損保ジャパン T C W外国株式マザーファンド」や「S J A M ラージキャップ・パリュール・マザーファンド」、「S J A M スモールキャップ・マザーファンド」の基準価額が上昇したことを主因に、当ファンドの基準価額は上昇しました。

- 本報告書では、ベビーファンドとマザーファンドを下記の様に統一して表記しています。

 ベビーファンド  マザーファンド

● 基準価額の推移

☰ ハッピーエイジング60



第22期末
2022.7.15

第23期末
2023.7.18

第23期首

騰落率

第23期末

基準価額
13,192円

0.7%
(分配金再投資)
(基準価額ベース)

基準価額
13,284円
(期中分配金)
(合計 0円)

- 分配金再投資基準価額および総合ベンチマークの推移は、2022年7月15日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドの総合ベンチマークは、個別資産毎のベンチマーク（運用を評価するための指標）を基準資産配分比率で加重平均して算出した指数で、設定日を10,000として、委託会社にて指数化したものです。

● 基準価額の主な変動要因

ハッピーエイジング60

当期間、投資対象である「損保ジャパン T C W 外国株式マザーファンド」や「S J A M ラージキャップ・バリュウ・マザーファンド」、「S J A M スモールキャップ・マザーファンド」の基準価額が上昇したことを主因に、当ファンドの基準価額は上昇しました。

S J A M ラージキャップ・バリュウ・マザーファンド

騰落率は+27.3%となりました。

国内株式市場が上昇する中、期を通じて株式を高位に組入れていたマザーファンドの基準価額も上昇しました。

個別銘柄では、三菱UFJフィナンシャル・グループ、三井住友フィナンシャルグループ、鹿島建設、三井住友トラスト・ホールディングス、アイシンなどの保有銘柄が上昇したことで基準価額は上昇しました。

S J A M スモールキャップ・マザーファンド

騰落率は+31.8%となりました。

国内株式市場が上昇する中、期を通じて株式を高位に組入れていたマザーファンドの基準価額も上昇しました。

個別銘柄では、シチズン時計、西日本フィナンシャルホールディングス、セイノーホールディングス、八十二銀行、めぶきフィナンシャルグループなどの保有銘柄が上昇したことで基準価額は上昇しました。

 損保ジャパン日本債券マザーファンド

期中の騰落率は-1.2%となりました。中期ゾーンから超長期ゾーンまで幅広い年限で利回りが上昇（価格は下落）したことから、基準価額は下落しました。

 損保ジャパン-T C W外国株式マザーファンド

期中の騰落率は+24.7%となりました。

ファンドで保有する株式の価格上昇がプラスに寄与しました。また、為替において、ユーロ、英ポンドが対円で上昇したこともプラスに寄与しました。

 損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンド

期中の騰落率は-0.7%となりました。

米国債券や欧州債券など主要国債券の利回りが上昇したことなどから、基準価額は下落しました。

- 本報告書では、ベビーファンドとマザーファンドを下記の様に統一して表記しています。

 ベビーファンド  マザーファンド

● 1万口当たりの費用明細

📊 ハッピーエイジング20

項目	第23期 2022.7.16~2023.7.18		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	322円	1.630%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 (年率) × $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は19,781円です。
(投信会社)	(129)	(0.654)	ファンドの運用の対価
(販売会社)	(182)	(0.921)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(11)	(0.055)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	10	0.050	(b) 売買委託手数料 = $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(9)	(0.048)	
(投資信託証券)	(0)	(0.002)	
(c) 有価証券取引税	0	0.002	(c) 有価証券取引税 = $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(0)	(0.002)	
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	5	0.026	(d) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(保管費用)	(4)	(0.019)	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
(監査費用)	(1)	(0.005)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(0)	(0.002)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	337	1.708	

注1. 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

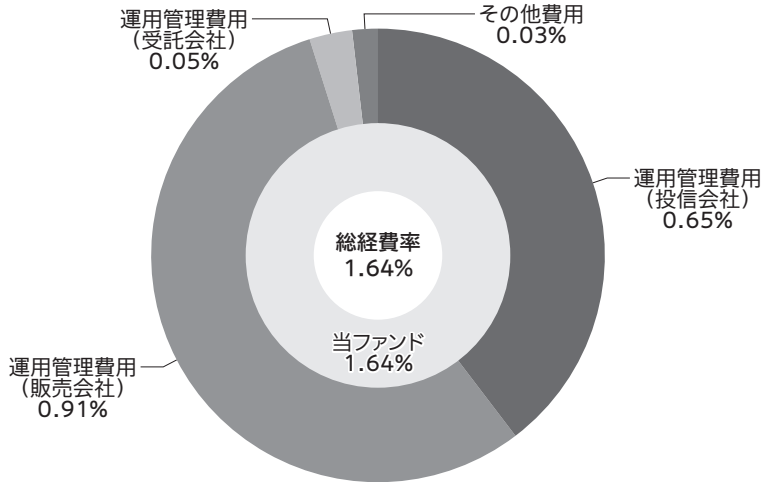
注2. 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

注3. 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.64%**です。



1万口当たりの費用明細

注1. 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

注2. 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

注3. 各比率は、年率換算した値です。

注4. 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

注5. 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。



ハッピーエイジング30

項目	第23期 2022.7.16~2023.7.18		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	283円	1.497%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 (年率) × $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は18,879円です。
(投信会社)	(111)	(0.588)	ファンドの運用の対価
(販売会社)	(161)	(0.854)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(10)	(0.055)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	7	0.040	(b) 売買委託手数料 = $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(7)	(0.038)	
(投資信託証券)	(0)	(0.002)	
(c) 有価証券取引税	0	0.001	(c) 有価証券取引税 = $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(0)	(0.001)	
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	5	0.024	(d) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(保管費用)	(3)	(0.018)	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
(監査費用)	(1)	(0.005)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(0)	(0.002)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	295	1.562	

注1. 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

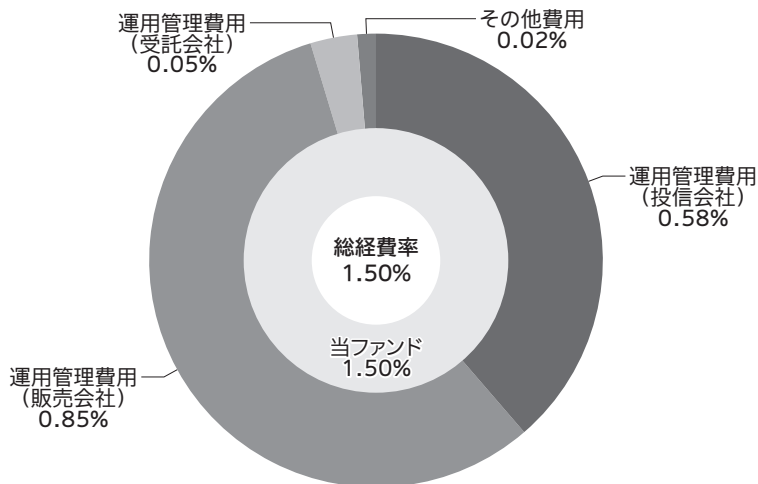
注2. 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

注3. 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.50%**です。



1
万口
当
た
り
の
費
用
明
細

注1. 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

注2. 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

注3. 各比率は、年率換算した値です。

注4. 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

注5. 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

ハッピーエイジング40

項目	第23期 2022.7.16~2023.7.18		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	230円	1.331%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 (年率) × $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は17,294円です。
(投信会社)	(90)	(0.521)	ファンドの運用の対価
(販売会社)	(130)	(0.754)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(10)	(0.055)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	5	0.028	(b) 売買委託手数料 = $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(5)	(0.027)	
(投資信託証券)	(0)	(0.001)	
(c) 有価証券取引税	0	0.001	(c) 有価証券取引税 = $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(0)	(0.001)	
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	3	0.018	(d) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(保管費用)	(2)	(0.013)	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
(監査費用)	(1)	(0.004)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(0)	(0.002)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	238	1.378	

注1. 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

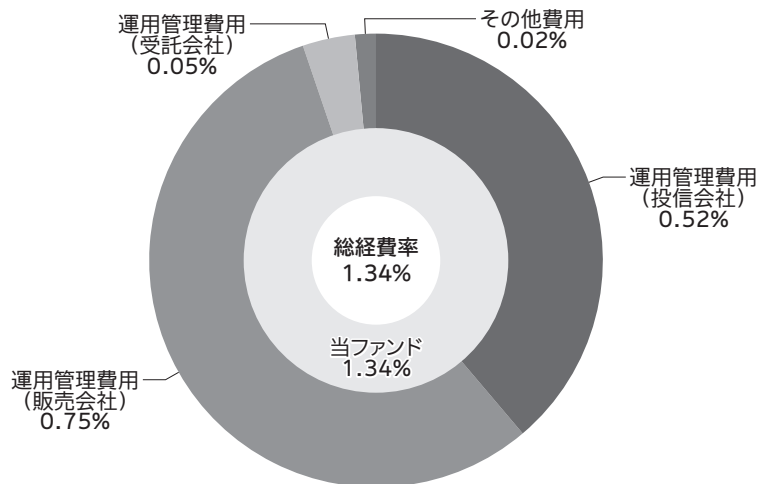
注2. 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

注3. 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.34%**です。



1
万口
当
た
り
の
費
用
明
細

注1. 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

注2. 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

注3. 各比率は、年率換算した値です。

注4. 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

注5. 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。



ハッピーエイジング50

項目	第23期 2022.7.16~2023.7.18		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	175円	1.142%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 (年率) × $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は15,348円です。
(投信会社)	(70)	(0.455)	ファンドの運用の対価
(販売会社)	(97)	(0.632)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(9)	(0.055)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	3	0.017	(b) 売買委託手数料 = $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(2)	(0.016)	
(投資信託証券)	(0)	(0.001)	
(c) 有価証券取引税	0	0.000	(c) 有価証券取引税 = $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(0)	(0.000)	
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	3	0.019	(d) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(保管費用)	(1)	(0.008)	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
(監査費用)	(1)	(0.009)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(0)	(0.002)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	181	1.178	

注1. 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

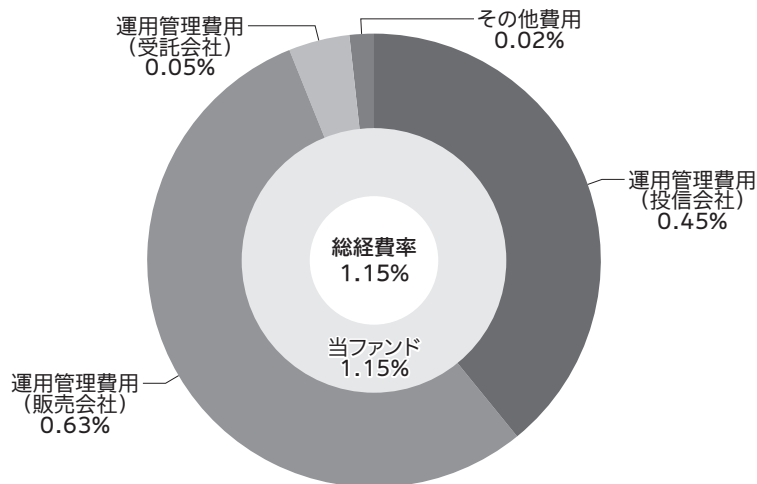
注2. 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

注3. 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.15%**です。



注1. 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

注2. 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

注3. 各比率は、年率換算した値です。

注4. 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

注5. 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。



ハッピーエイジング60

項目	第23期 2022.7.16~2023.7.18		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	125円	0.954%	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 (年率) × $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は13,099円です。
(投信会社)	(51)	(0.388)	ファンドの運用の対価
(販売会社)	(67)	(0.510)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(7)	(0.055)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	1	0.006	(b) 売買委託手数料 = $\frac{\text{期中の売買委託手数料}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株式)	(1)	(0.006)	
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
(c) 有価証券取引税	0	0.000	(c) 有価証券取引税 = $\frac{\text{期中の有価証券取引税}}{\text{期中の平均受益権口数}}$ 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(0)	(0.000)	
(投資信託証券)	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	3	0.023	(d) その他費用 = $\frac{\text{期中のその他費用}}{\text{期中の平均受益権口数}}$
(保管費用)	(1)	(0.006)	有価証券等の保管等のために、海外の銀行等に支払う費用
(監査費用)	(2)	(0.015)	監査法人に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(0)	(0.002)	信託事務の処理にかかるその他の費用等
合計	129	0.983	

注1. 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

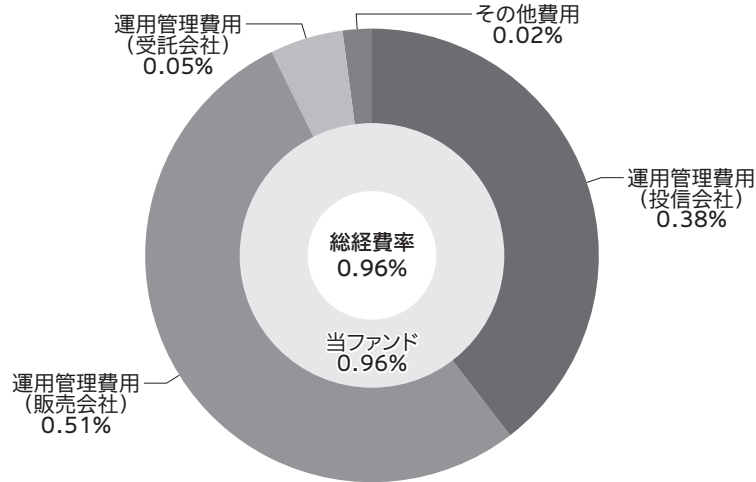
注2. 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

注3. 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は0.96%**です。



注1. 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

注2. 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

注3. 各比率は、年率換算した値です。

注4. 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

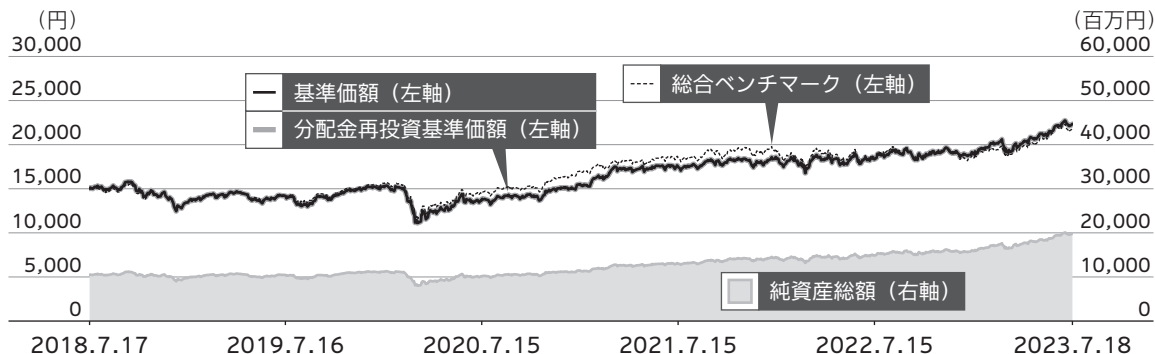
注5. 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

● 最近5年間の基準価額等の推移

2018.7.17～2023.7.18



ハッピーエイジング20




- 分配金再投資基準価額および総合ベンチマークの推移は、2018年7月17日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドの総合ベンチマークは、個別資産毎のベンチマーク（運用を評価するための指標）を基準資産配分比率で加重平均して算出した指数で、設定日を10,000として、委託会社にて指数化したものです。

決算日		2018.7.17 決算日	2019.7.16 決算日	2020.7.15 決算日	2021.7.15 決算日	2022.7.15 決算日	2023.7.18 決算日
基準価額	(円)	15,015	14,179	13,797	17,449	18,338	22,346
期中分配金合計（税引前）	(円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資		—	△ 5.6	△ 2.7	26.5	5.1	21.9
基準価額騰落率	(%)	—	△ 5.1	3.0	26.0	0.5	17.1
ベンチマーク騰落率	(%)	—	△ 5.1	3.0	26.0	0.5	17.1
純資産総額	(百万円)	10,439	10,453	10,189	13,007	14,848	19,858

- ベンチマークは、個別資産毎のベンチマーク（運用を評価するための指標）を基準資産配分比率で加重平均して算出した総合ベンチマークです。

指数に関する詳細は66ページをご参照ください。▶

2018.7.17~2023.7.18


ハッピーエイジング30


- 分配金再投資基準価額および総合ベンチマークの推移は、2018年7月17日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドの総合ベンチマークは、個別資産毎のベンチマーク（運用を評価するための指標）を基準資産配分比率で加重平均して算出した指数で、設定日を10,000として、委託会社にて指数化したものです。

決算日	2018.7.17 決算日	2019.7.16 決算日	2020.7.15 決算日	2021.7.15 決算日	2022.7.15 決算日	2023.7.18 決算日
基準価額 (円)	15,148	14,446	14,293	17,142	17,915	20,822
期中分配金合計（税引前）(円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資	—	△ 4.6	△ 1.1	19.9	4.5	16.2
基準価額騰落率 (%)	—	△ 4.1	3.6	19.8	0.7	13.1
ベンチマーク騰落率 (%)	—	△ 4.1	3.6	19.8	0.7	13.1
純資産総額 (百万円)	12,738	12,699	12,817	15,539	17,096	21,009

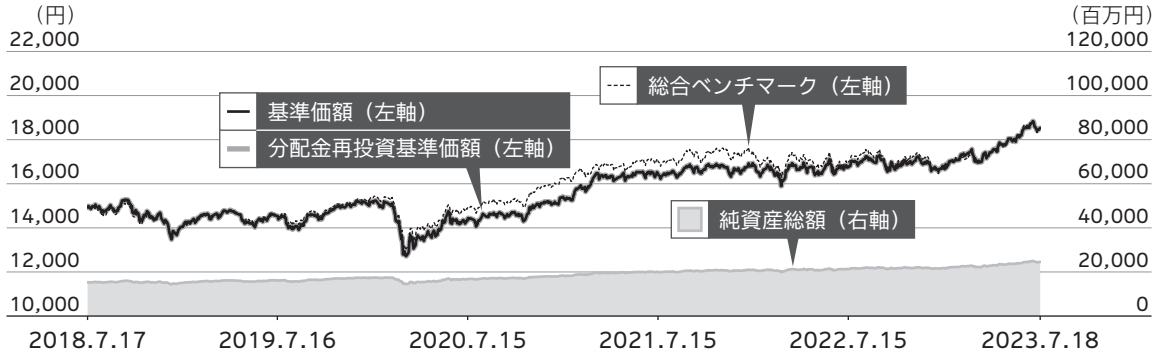
- ベンチマークは、個別資産毎のベンチマーク（運用を評価するための指標）を基準資産配分比率で加重平均して算出した総合ベンチマークです。

指数に関する詳細は66ページをご参照ください。▶

2018.7.17~2023.7.18



ハッピーエイジング40




- 分配金再投資基準価額および総合ベンチマークの推移は、2018年7月17日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドの総合ベンチマークは、個別資産毎のベンチマーク（運用を評価するための指標）を基準資産配分比率で加重平均して算出した指数で、設定日を10,000として、委託会社にて指数化したものです。

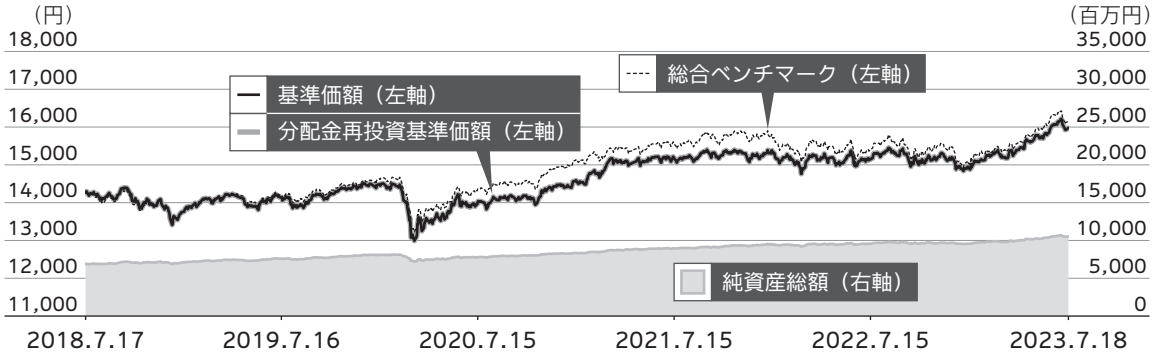
決算日	2018.7.17 決算日	2019.7.16 決算日	2020.7.15 決算日	2021.7.15 決算日	2022.7.15 決算日	2023.7.18 決算日
基準価額 (円)	14,924	14,537	14,410	16,425	16,752	18,528
期中分配金合計 (税引前) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資	—	△ 2.6	△ 0.9	14.0	2.0	10.6
基準価額騰落率 (%)	—	△ 2.3	2.4	13.9	△ 0.2	8.8
ベンチマーク騰落率 (%)	—	△ 2.3	2.4	13.9	△ 0.2	8.8
純資産総額 (百万円)	15,282	16,189	16,815	19,994	21,277	24,582

- ベンチマークは、個別資産毎のベンチマーク（運用を評価するための指標）を基準資産配分比率で加重平均して算出した総合ベンチマークです。

指数に関する詳細は66ページをご参照ください。▶

2018.7.17～2023.7.18

 ハッピーエイジング50



- 分配金再投資基準価額および総合ベンチマークの推移は、2018年7月17日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドの総合ベンチマークは、個別資産毎のベンチマーク（運用を評価するための指標）を基準資産配分比率で加重平均して算出した指数で、設定日を10,000として、委託会社にて指数化したものです。

決算日	2018.7.17 決算日	2019.7.16 決算日	2020.7.15 決算日	2021.7.15 決算日	2022.7.15 決算日	2023.7.18 決算日
基準価額 (円)	14,262	14,137	14,019	15,168	15,150	15,977
期中分配金合計（税引前）(円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資	—	△ 0.9	△ 0.8	8.2	△ 0.1	5.5
基準価額騰落率 (%)	—	△ 0.5	1.2	8.2	△ 0.9	4.8
純資産総額 (百万円)	6,875	7,592	7,791	8,938	9,555	10,534

- ベンチマークは、個別資産毎のベンチマーク（運用を評価するための指標）を基準資産配分比率で加重平均して算出した総合ベンチマークです。

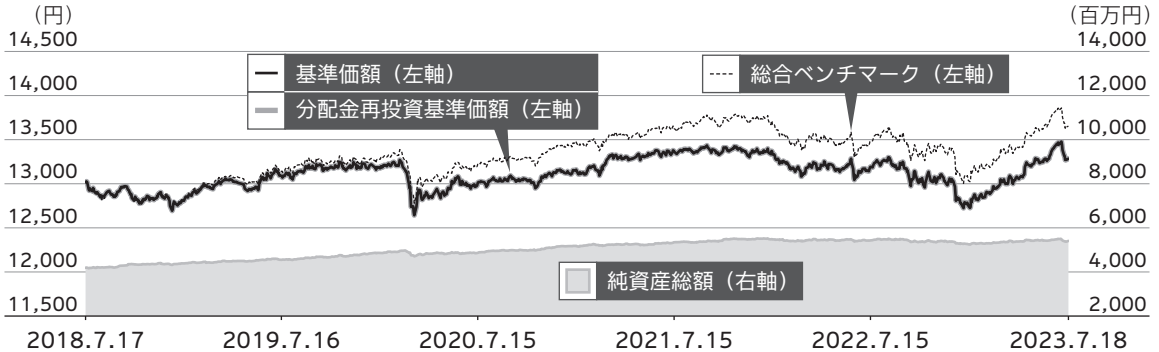
指数に関する詳細は66ページをご参照ください。

最近5年間の基準価額等の推移

2018.7.17～2023.7.18



ハッピーエイジング60



- 分配金再投資基準価額および総合ベンチマークの推移は、2018年7月17日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。
- 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- 当ファンドの総合ベンチマークは、個別資産毎のベンチマーク（運用を評価するための指標）を基準資産配分比率で加重平均して算出した指数で、設定日を10,000として、委託会社にて指数化したものです。

決算日		2018.7.17 決算日	2019.7.16 決算日	2020.7.15 決算日	2021.7.15 決算日	2022.7.15 決算日	2023.7.18 決算日
基準価額	(円)	13,015	13,089	13,009	13,367	13,192	13,284
期中分配金合計（税引前）	(円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資		—	0.6	△ 0.6	2.8	△ 1.3	0.7
基準価額騰落率	(%)	—	0.6	△ 0.6	2.8	△ 1.3	0.7
ベンチマーク騰落率	(%)	—	1.0	0.6	3.1	△ 1.0	1.2
純資産総額	(百万円)	4,186	4,551	4,870	5,345	5,430	5,407

- ベンチマークは、個別資産毎のベンチマーク（運用を評価するための指標）を基準資産配分比率で加重平均して算出した総合ベンチマークです。

指数に関する詳細は66ページをご参照ください。▶

最近5年間の基準価額等の推移

● 投資環境

1. 国内株式市況

TOPIXは19.0%の上昇となりました。

期初は世界的金融引き締めを背景に景気後退懸念が意識された一方、堅調な企業決算が下支えとなり横ばい圏での推移となりました。

その後、2022年12月の日銀金融政策決定会合において10年国債利回りの変動許容幅拡大が決定されると、円高が進行し株価は弱含みましたが、FRB（米連邦準備理事会）の利上げペース鈍化や中国のゼロコロナ政策解除による景気回復への期待から株価は再度上昇に転じました。

また、米欧の金融システム不安の高まりから急落する場面もあったものの、政府、中央銀行の迅速な対応に加えて、期末にかけては東証の要請（資本コストや株価の重視、投資家対話の開示、正確な情報開示）を契機に国内企業の資本効率改善への期待も高まり、海外投資家が大幅買い越しに転じたことから力強い上昇となりました。

2. 国内債券市況

国内債券の利回りは上昇しました。

世界的にインフレが高進し、各国中央銀行が金融引き締め政策を進めるなかで、日銀についてもこれまでの緩和的金融政策を転換するとの思惑が高まり、イールドカーブ・コントロール（長短金利操作）政策の影響が少ない超長期ゾーンを中心に利回りが上昇しました。その後、2022年12月に日銀が10年物国債利回りの変動許容幅を拡大すると、中期～長期ゾーンの利回りも上昇しました。2023年の年明け以降は、日銀が新体制下でも金融緩和を継続するとの見方が強まり、利回りの上昇は一服しました。

事業債のスプレッドは、世界的なインフレおよび景気後退懸念から、リスク資産を避ける動きが強まり、前期末から拡大しました。

3. 外国株式市況

○米国株式市場

米国株式市場は上昇しました。

2022年10月中頃にかけては、堅調な経済指標から、FRBによる積極的な利上げが続くとの見方が強まり、下落しました。2023年2月中頃にかけては、インフレのピークアウト期待や、FOMC（米連邦公開市場委員会）で利上げの停止について議論を開始する可能性があることと報じられたことなどを受けて上昇しました。3月中頃になると、欧米の金融不安から下落しました。期末にかけては、金融不安の後退、米上院による債務上限停止法案の可決や、今後の利上げに対する過度な懸念が緩和したことなどをを受けて堅調に推移しました。

○欧州株式市場

欧州株式市場は上昇しました。

2022年9月にかけては、米国、英国などの積極的な金融政策によりリスク回避姿勢が強まり下落しました。2023年3月初めにかけては、2022年12月に、ECB（欧州中央銀行）理事が持続的な利上げ継続の必要性を述べたことにより下落した局面もありましたが、インフレ沈静化期待などから上昇しました。2023年3月中旬には、米国の金融システム不安が欧州にも波及し下落しましたが、3月末には金融システム不安が後退し上昇しました。期末にかけては、堅調な経済指標や利上げ懸念などにより一進一退の動きとなり、レンジ内で推移しました。

○アジア株式市場

アジア株式市場は概ね下落しました。

2022年10月末にかけては、米国での積極的な利上げが継続するとの見方が強まったことや、中国の政治・経済・地政学リスクが改めて意識されたことなどにより下落しました。2023年1月末にかけては、春節期間中の堅調な消費や、半導体株が上昇し、堅調に推移しました。3月中頃になると、欧米の金融不安から下落しました。期末にかけては、中国の景気減速懸念や、商品市況安が進み軟調な展開となる局面もありましたが、米国のインフレ軟化や、ハイテク株が上昇を牽引し、下落幅を一部戻す展開となりました。

4. 外国債券市況

○米国債券市場

当期の米国10年債の利回りは、大幅に上昇しました。

FRBがインフレ抑制のため、大幅な利上げを行い、金融引き締めを進めたことなどから、利回りは大幅に上昇しました。

○欧州債券市場

当期のドイツ10年債の利回りは、大幅に上昇しました。

ECBがインフレ抑制のため、大幅な利上げを行い、金融引き締めを進めたことなどから、ドイツ10年債の利回りは大幅に上昇しました。

○為替相場

当期の米ドル円相場は、方向感に乏しい動きとなりました。

米ドル円相場は、FRBが金融引き締めを進めた一方で日銀は金融緩和を継続したことから、日米の金融政策格差により円安ドル高が進む局面もありましたが、日銀の金融政策正常化への思惑などが円高圧力となり、方向感に乏しい動きとなりました。当期末の米ドル円は、前期末と概ね同水準となりました。

5. エマージング株式市況

当期のエマージング株式市場はやや上昇しました。

期初は中国での景気刺激策発表などにより株価は上昇しましたが、中国の成都市で都市封鎖を実施したことや、米国の政策金利見通しの引き上げを受け、株価は下落しました。その後、中国のゼロコロナ政策の緩和や米中首脳会談の開催で投資家心理は改善し、2022年の年末にかけて株価は反発しました。2023年に入り、中国インターネット企業への規制緩和の動きで相場は上昇したものの、米国による気球撃墜を受けて米中関係が再度緊張状態となり、市場は反落しました。その後は米欧の金融不安で相場は乱高下しましたが、生成AIを契機とした台湾・韓国の半導体関連銘柄の上昇や、中国での政策金利引き下げにより、期を通じては、株価はやや上昇しました。

● 当該投資信託のポートフォリオ

ハッピーエイジング・ファンド

各ファンドの資産アロケーションについては、当社が決定した基準資産配分比率を、各々ほぼ維持する戦略を採りました。

ハッピーエイジング20実質組入比率

	実質組入比率	基本アロケーション	差
国内債券	2.0%	2.0%	△0.0%
外国債券	5.8%	6.0%	△0.2%
国内株式	51.9%	52.0%	△0.1%
外国株式	33.1%	33.0%	0.1%
エマージング株式	4.9%	5.0%	△0.1%
短期資産	2.3%	2.0%	0.3%
合計	100.0%	100.0%	—

ハッピーエイジング30実質組入比率

	実質組入比率	基本アロケーション	差
国内債券	8.0%	8.0%	△0.0%
外国債券	19.6%	20.0%	△0.4%
国内株式	44.1%	44.0%	0.1%
外国株式	21.2%	21.0%	0.2%
エマージング株式	4.8%	5.0%	△0.2%
短期資産	2.3%	2.0%	0.3%
合計	100.0%	100.0%	—

ハッピーエイジング40実質組入比率

	実質組入比率	基本アロケーション	差
国内債券	32.9%	33.0%	△0.1%
外国債券	14.7%	15.0%	△0.3%
国内株式	31.2%	31.0%	0.2%
外国株式	14.2%	14.0%	0.2%
エマージング株式	5.1%	5.0%	0.1%
短期資産	1.9%	2.0%	△0.1%
合計	100.0%	100.0%	—

ハッピーエイジング50実質組入比率

	実質組入比率	基本アロケーション	差
国内債券	57.0%	57.0%	△0.0%
外国債券	10.8%	11.0%	△0.2%
国内株式	19.2%	19.0%	0.2%
外国株式	8.1%	8.0%	0.1%
エマージング株式	3.1%	3.0%	0.1%
短期資産	1.8%	2.0%	△0.2%
合計	100.0%	100.0%	—

ハッピーエイジング60実質組入比率

	実質組入比率	基本アロケーション	差
国内債券	71.8%	72.0%	△0.2%
外国債券	15.8%	16.0%	△0.2%
国内株式	8.0%	8.0%	0.0%
外国株式	2.0%	2.0%	0.0%
エマージング株式	0.0%	0.0%	0.0%
短期資産	2.3%	2.0%	0.3%
合計	100.0%	100.0%	-

S J AMラージキャップ・バリュー・マザーファンド

期を通して株式の組入比率を高位に維持しました。期末の組入比率は、98.8%です。
 当期も、当社独自の株式評価モデルで算出した相対的割安度に基づき、銘柄入替を行いました。
 主な購入（ウェイトアップ）銘柄は、アイシン、旭化成、京セラなどでした。
 主な売却（ウェイトダウン）銘柄は、東京瓦斯、日本製鉄、武田薬品工業などでした。

S J AMスモールキャップ・マザーファンド

期を通して株式の組入比率を高位に維持しました。期末の組入比率は、98.9%です。
 主な購入（ウェイトアップ）銘柄は、九州フィナンシャルグループ、ジェイテクト、ひろぎんホールディングスなどでした。
 主な売却（ウェイトダウン）銘柄は、クレディセゾン、シチズン時計、ワコールホールディングスなどでした。

損保ジャパン日本債券マザーファンド

金利戦略は、国債利回りが上昇基調で推移した2023年3月までは、2022年8月を除き、主にショートデュレーション戦略をとりました。国債利回りの上昇が一服した4月以降は、主にロングデュレーション戦略をとりました。また、デュレーション幅は、ニュートラルも含め機動的に変更しました。

加えて、イールドカーブ上の相対的に割安な年限をオーバーウェイトするレラティブ・バリュー戦略もとりました。

債券種別戦略は、非国債のオーバーウェイト幅を縮小しました。

個別銘柄選択は、保険会社の劣後債の売却を行い、国債と入れ替えることでリスクの低減を図った一方、信用力対比で妙味があると判断した電力債を購入しました。

損保ジャパン-T C W外国株式マザーファンド

期を通して株式の組入比率を高位に維持しました。

損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンド

期を通して、債券の組入比率は概ね高位に維持しました。

・国別配分

ドルやユーロの通貨戦略とユーロ圏の国別配分戦略を中心に、相場動向に合わせて、ポジションを機動的に変更しました。

・デュレーション・残存期間構成戦略

デュレーション戦略は、米国と欧州を中心に相場動向に合わせて、機動的にポジションを変更しました。

なお、為替ヘッジは行っていません。

● 当該投資信託のベンチマークとの差異

当期間、「損保ジャパン-T C W外国株式マザーファンド」、「S J A M ラージキャップ・バリュー・マザーファンド」、「S J A M スモールキャップ・マザーファンド」、「エマージング株式」の騰落率はベンチマーク（日本株式はTOPIX）を上回り、「損保ジャパン日本債券マザーファンド」、「損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンド」の騰落率はベンチマークを下回りました。

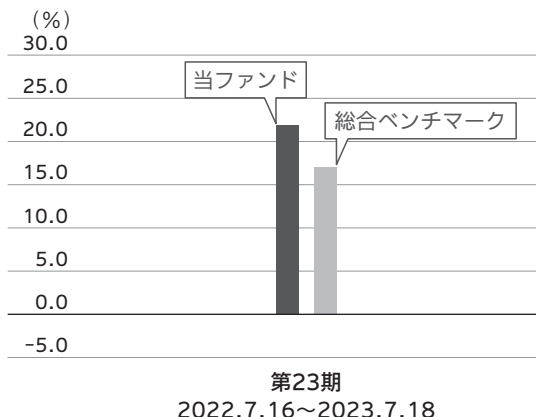
その結果、各ファンドにおける総合ベンチマークとの差異及び差異要因は以下の通りとなりました。

☰ ハッピーエイジング20

基準価額の騰落率は総合ベンチマークの騰落率（+17.1%）を4.8%上回りました。

個別資産要因がプラスに寄与し、総合ベンチマークを上回りました。

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）

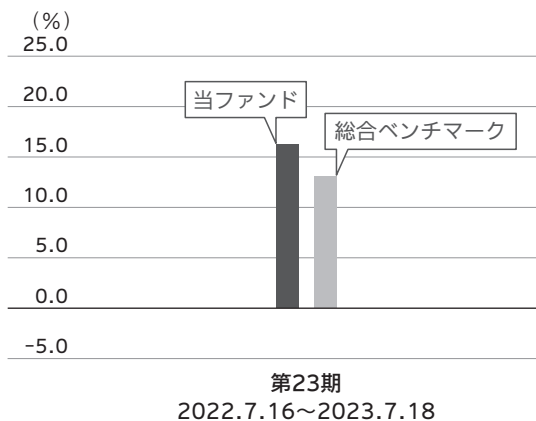


📊 ハッピーエイジング30

基準価額の騰落率は総合ベンチマークの騰落率（+13.1%）を3.2%上回りました。

個別資産要因がプラスに寄与し、総合ベンチマークを上回りました。

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）

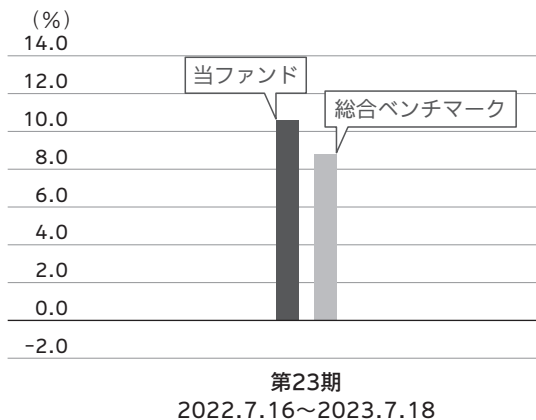


📊 ハッピーエイジング40

基準価額の騰落率は総合ベンチマークの騰落率（+8.8%）を1.8%上回りました。

個別資産要因がプラスに寄与し、総合ベンチマークを上回りました。

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



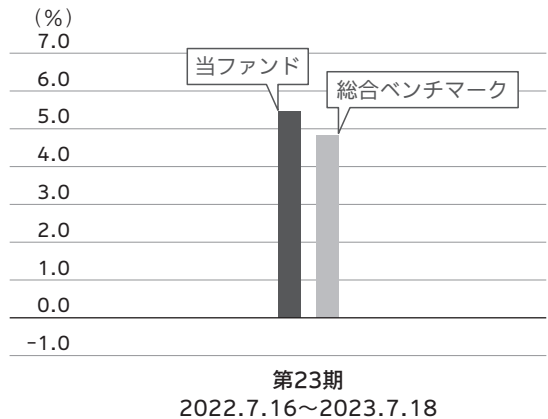


ハッピーエイジング50

基準価額の騰落率は総合ベンチマークの騰落率（+4.8%）を0.6%上回りました。

個別資産要因がプラスに寄与し、総合ベンチマークを上回りました。

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）

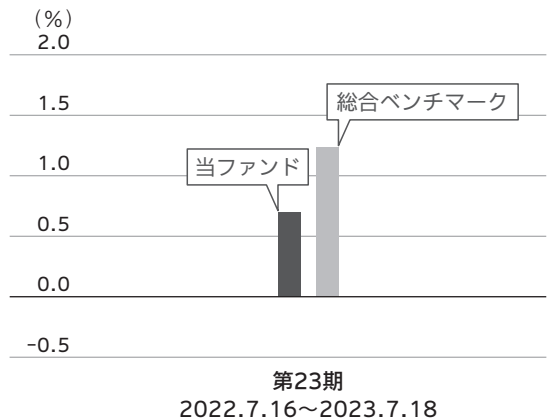


ハッピーエイジング60

基準価額の騰落率は総合ベンチマークの騰落率（+1.2%）を0.5%下回りました。

個別資産要因がプラスに寄与しましたが、信託報酬がマイナス要因となり、総合ベンチマークを下回りました。

基準価額とベンチマークの対比（期別騰落率）



期を通じて各マザーファンドを組入れておりましたので、以下ではマザーファンドとベンチマークとの差異の要因分析等についてご説明致します。

SJAMラージキャップ・バリュー・マザーファンドとベンチマークとの差異

マザーファンドの騰落率は、Russell/Nomura Large Cap Value インデックス（配当を含むトータルリターンインデックス）の騰落率（+29.9%）を2.6%下回りました。業種配分効果では銀行業、鉄鋼のオーバーウェイト、輸送用機器のアンダーウェイトなどがプラス、卸売業のアンダーウェイト、パルプ・紙、繊維製品のオーバーウェイトなどがマイナス要因となりました。個別銘柄では、トヨタ自動車のアンダーウェイト、三井住友フィナンシャルグループ、三菱UFJフィナンシャル・グループのオーバーウェイトなどがプラス要因に、麒麟ホールディングスのオーバーウェイト、三菱商事、三井物産のアンダーウェイトなどがマイナス要因になりました。

SJAMスモールキャップ・マザーファンドとベンチマークとの差異

マザーファンドの騰落率は、Russell/Nomura Small Cap インデックス（配当を含むトータルリターンインデックス）の騰落率（+19.2%）を12.6%上回りました。業種配分効果では銀行業、輸送用機器のオーバーウェイト、情報・通信業のアンダーウェイトなどがプラス、機械、ガラス・土石製品、鉄鋼のアンダーウェイトなどがマイナス要因となりました。個別銘柄では、シチズン時計、西日本フィナンシャルホールディングス、セイノーホールディングスのオーバーウェイトなどがプラス要因に、森永乳業、サワイグループホールディングス、ソラストのオーバーウェイトなどがマイナス要因になりました。

損保ジャパン日本債券マザーファンドとベンチマークとの差異

マザーファンドの騰落率は、ベンチマーク（NOMURA-BPI総合指数）の騰落率（-1.1%）とほぼ同水準でした。

金利戦略は主に、2022年9月のショートデュレーション戦略や、2023年4月のロングデュレーション戦略を中心に小幅にプラスとなりました。

債券種別戦略は、期初から2023年3月までは非国債のオーバーウェイトがマイナス要因となった一方、4月以降はプラス要因となり、期を通じてのパフォーマンスへの影響は限定的でした。

個別銘柄戦略は、長期の劣後債の保有がマイナスとなりました。

損保ジャパンTCW外国株式マザーファンドとベンチマークとの差異

マザーファンドの騰落率は、ベンチマーク（MSCIコクサイ インデックス（円換算ベース））の騰落率（19.9%）を4.8%上回りました。

主に、米国株式の銘柄選択要因がプラスに寄与しました。

損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンドとベンチマークとの差異

マザーファンドの騰落率は、ベンチマーク（FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース））の騰落率（+0.6%）を1.3%下回りました。

主に2022年11月や2023年3月に米国や欧州の債券利回りが低下（価格は上昇）した局面において、米欧のショートデュレーション戦略がマイナス要因となりました。

エマーゼンダ株式

ベンチマーク（MSCIエマーゼンダ・マーケット・インデックス（円換算ベース））の騰落率（+6.4%）を4.6%上回りました。

● 分配金

中長期的な観点から、複利効果による資産の成長を目指すために分配を抑えるファンドです。

ハッピーエイジング・ファンド

収益分配金については、基準価額の水準等を勘案し、次表の通りと致しました。なお、収益分配に充てなかった収益は、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて引き続き元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項目	第23期 2022.7.16~2023.7.18				
	ハッピーエイジング20	ハッピーエイジング30	ハッピーエイジング40	ハッピーエイジング50	ハッピーエイジング60
当期分配金	—	—	—	—	—
(対基準価額比率)	—%	—%	—%	—%	—%
当期の収益	—	—	—	—	—
当期の収益以外	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	16,642	13,550	10,161	6,428	3,284

注1. 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

注2. 円未満は切り捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税引前）に合致しない場合があります。

注3. 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

● 今後の運用方針

ハッピーエイジング・ファンド

マザーファンドの受益証券等への投資を通して、国内株式・国内債券にとどまらず世界各国の株式および債券に積極的に分散投資を行うことによって、リスクを軽減しつつ信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指します。

S J AMラージキャップ・バリュー・マザーファンド

当社の投資哲学に基づいた運用プロセスを堅持し、独自の株式評価モデルで算出した相対的割安度に基づき銘柄を選択していくことを基本方針とします。今後も、固有の割安要因に着目した個別銘柄選択を中心とするポートフォリオ構築によって、中長期的に着実な信託財産の成長を目指します。

S J AMスモールキャップ・マザーファンド

当社の投資哲学に基づいた運用プロセスを堅持し、独自の株式評価モデルで算出した相対的割安度に基づき銘柄を選択していくことを基本方針とします。今後も、固有の割安要因に着目した個別銘柄選択を中心とするポートフォリオ構築によって、中長期的に着実な信託財産の成長を目指します。

損保ジャパン日本債券マザーファンド

金利戦略については、相場環境に応じてデュレーション・カーブ戦略を中心に機動的に変更する方針です。

債券種別戦略については、事業債を中心とした非国債のオーバーウェイトを拡大する方針です。

個別銘柄選択については、価格変動性が相対的に小さい短中期債を中心に組入れることで、リスクを抑制した運用を行う方針です。

損保ジャパン－TCW外国株式マザーファンド

米国では、インフレ指標次第で追加の利上げ実施や、金融引き締めが長期化する可能性があります。中国と欧州の経済成長鈍化が世界的な経済成長鈍化の背景となっており、これまでの米国での金融引き締め政策が経済に徐々に影響を与えていくことが予想されます。このような環境の下、景気減速に対する耐性が強く、財務基盤が強固で、優れた経営能力を持つ優良企業の発掘に努めます。







当ファンドは各ストラテジーの投資比率を適宜調整し、個別企業のファンダメンタルズ分析に注力し、いずれの景気局面においても恩恵を十分に受けられるポートフォリオを構築してまいります。

損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンド

国別配分戦略は、ドルやユーロの通貨戦略とユーロ圏の国別配分戦略を中心に、相場動向に合わせて、ポジションを機動的に変更し、収益機会を増やす方針とします。

デュレーション戦略は、米国と欧州を中心に相場動向に合わせて、機動的にポジションを変更し、収益機会を増やす方針とします。

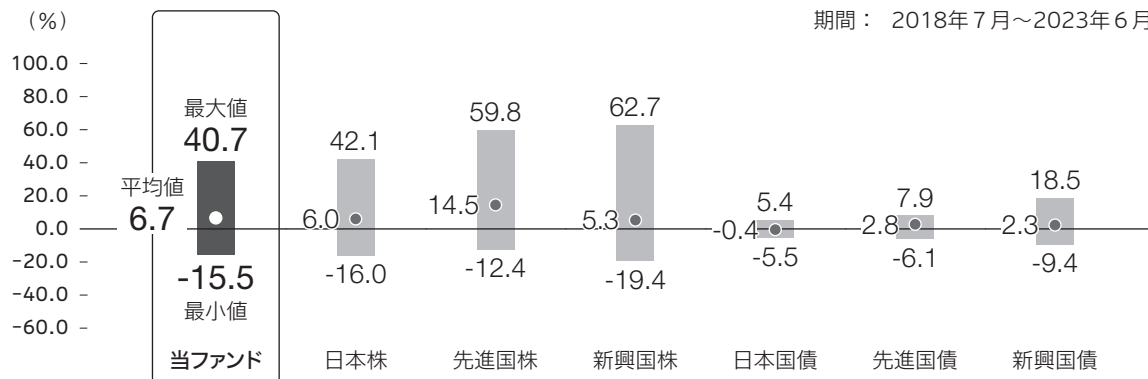
● 当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	無期限	
運用方針	中長期的に信託財産の着実な成長を目標として運用を行います。	
主要投資対象	 ハッピーエイジング20/30/40/50/60 「S J AMラージキャップ・バリュー・マザーファンド」、 「S J AMスモールキャップ・マザーファンド」、 「損保ジャパン日本債券マザーファンド」、 「損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンド」、 「損保ジャパンーTCW外国株式マザーファンド ^{※1} 」の受益証券およびエマージング株式又はエマージング株式を主要投資対象とする証券投資信託 ^{※2} ※1 運用スタイル毎のアロケーションと北米株式の運用指図に関する権限を、TCW INVESTMENT MANAGEMENT COMPANYに委託します。 ※2 パッシブ運用を行う証券投資信託受益証券を組入れる可能性があります。	
	 S J AMラージキャップ・バリュー・マザーファンド わが国の株式	 損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンド 日本を除く世界各国の公社債
	 S J AMスモールキャップ・マザーファンド わが国の株式	 損保ジャパンーTCW外国株式マザーファンド 日本を除く世界各国の株式
	 損保ジャパン日本債券マザーファンド 日本の公社債	
運用方法	① 国内株式・国内債券にとどまらず世界各国の株式及び債券に積極的に分散投資を行うことによって、リスクを軽減しつつ信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指します。 ② 長期的な視点から基準資産配分比率を決定し、当該比率をめどに投資を行います。 ③ 各ファンドの運用は、以下の個別資産毎のベンチマーク（運用を評価するための指標）を基準資産配分比率で加重平均したものを総合ベンチマークとし、これを上回る運用成果を目指します。 国内株式：東証株価指数（TOPIX） 国内債券：NOMURA-BPI総合指数 外国債券：FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース） 外国株式：MSCIコクサイ インデックス（円換算ベース） エマージング株式：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（円換算ベース） 短期資産：有担コール翌日物	
分配方針	毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ① 分配対象額の範囲は、繰越分を含めた利子、配当収入と売買益（評価損益を含みます。）等の全額とします。 ② 収益分配金額は、委託会社が基準価額水準等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。	

● 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

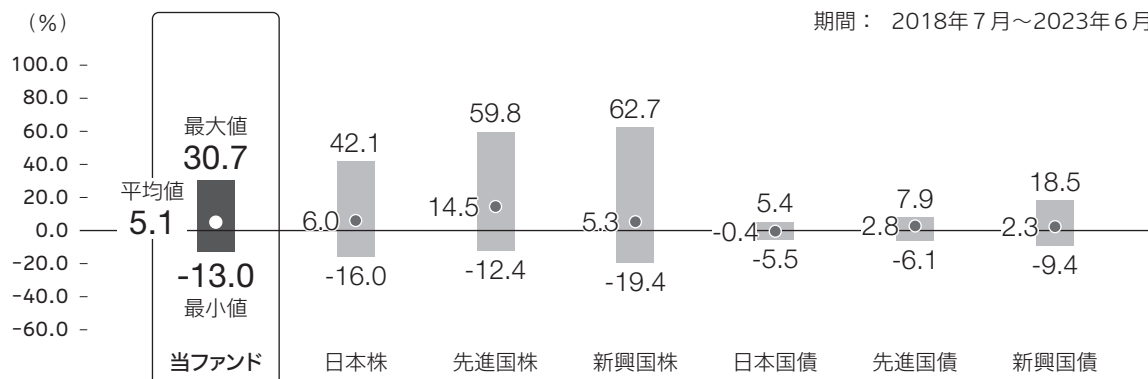
📊 ハッピーエイジング20

期間： 2018年7月～2023年6月



📊 ハッピーエイジング30

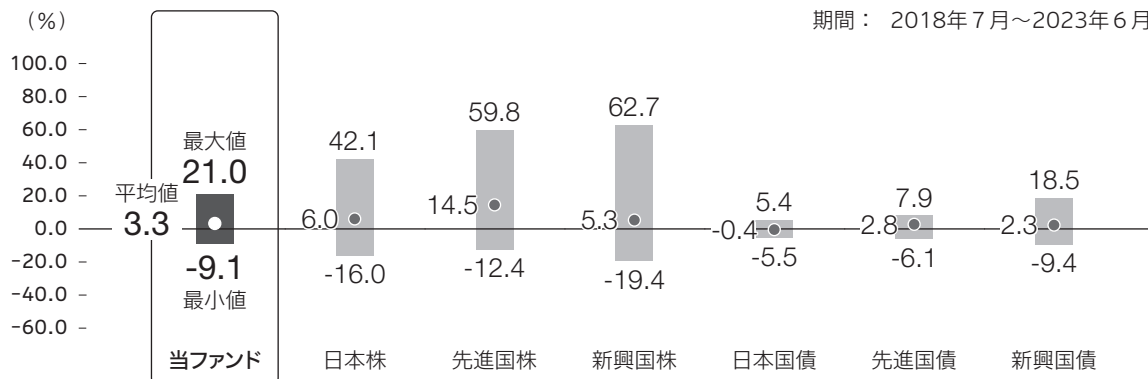
期間： 2018年7月～2023年6月



代表的な資産クラスとの騰落率の比較

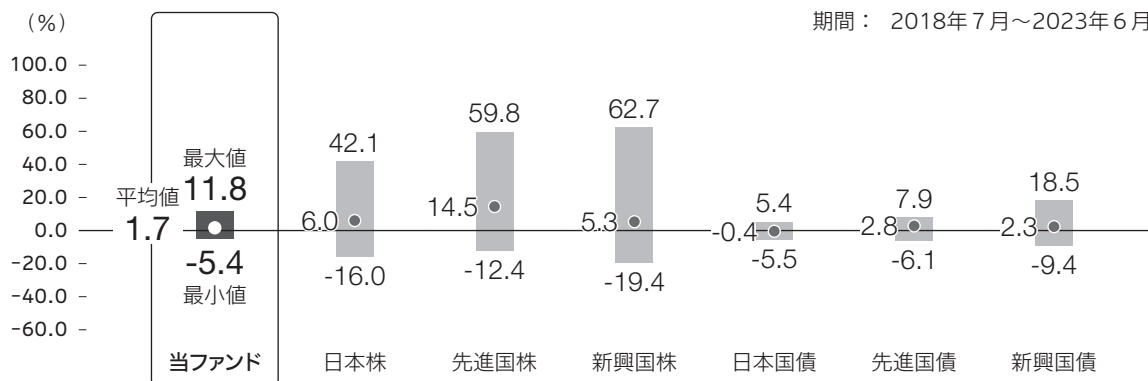
ハッピーエイジング40

期間： 2018年7月～2023年6月



ハッピーエイジング50

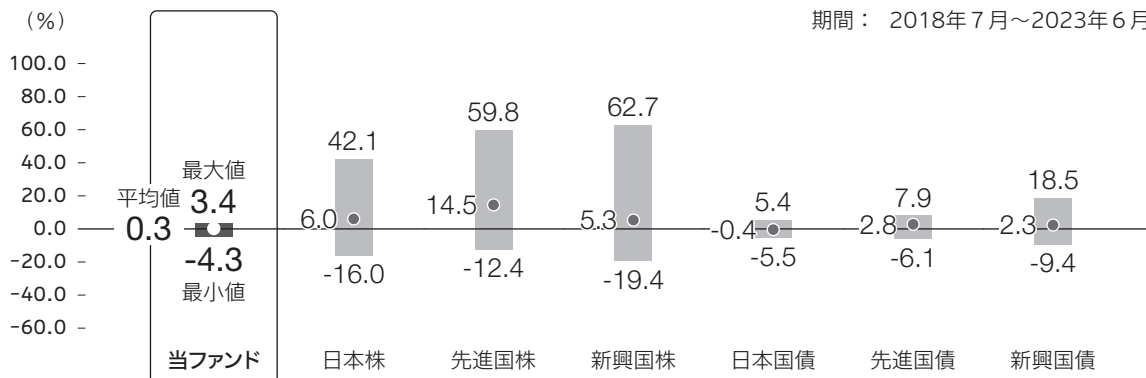
期間： 2018年7月～2023年6月



代表的な資産クラスとの騰落率の比較

📊 ハッピーエイジング60

期間：2018年7月～2023年6月



* 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均・最大・最小を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

* 各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円換算ベース)
日本国債	NOMURA-BPI国債
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド (円ベース)

※ 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

- 当ファンドについては、分配金 (税引前) 再投資基準価額の騰落率です。
- 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- 上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、決算日に対応した数値とは異なります。

指数に関する詳細は66～67ページをご参照ください。

当該投資信託のデータ

📊 ハッピーエイジング20

● 当該投資信託の組入資産の内容

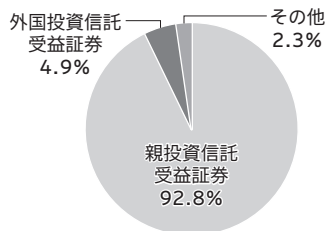
※ 組入銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

組入ファンド

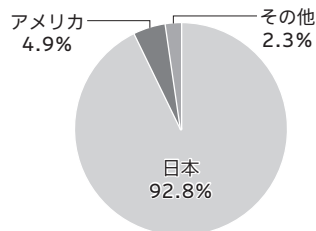
	第23期末 2023.7.18
損保ジャパン T C W外国株式マザーファンド	33.1%
S J A M ラージキャップ・バリュー・マザーファンド	26.0%
S J A M スモールキャップ・マザーファンド	25.9%
損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンド	5.8%
ISHARES CORE MSCI EMERGING	4.9%
損保ジャパン日本債券マザーファンド	2.0%

注．比率は第23期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

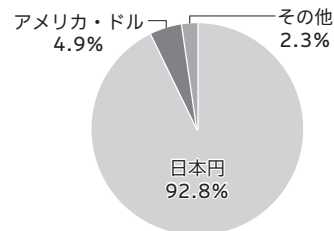
資産別配分



国別配分



通貨別配分



注．比率は第23期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

● 純資産等

項目	第23期末 2023.7.18
純資産総額	19,858,295,497円
受益権総口数	8,886,578,673口
1万口当たり基準価額	22,346円

※ 当期中における追加設定元本額は1,970,503,276円、同解約元本額は1,180,964,726円です。

● 当該投資信託の組入資産の内容

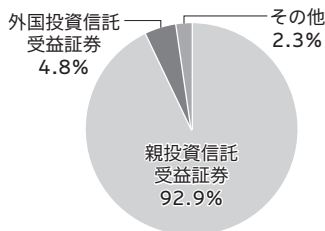
※ 組入銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

組入ファンド

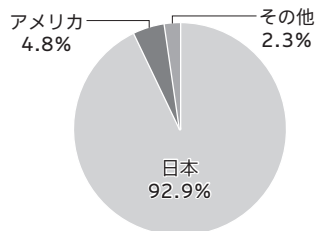
	第23期末 2023.7.18
S J AMスモールキャップ・マザーファンド	22.1%
S J AMラージキャップ・バリュー・マザーファンド	22.0%
損保ジャパンTCW外国株式マザーファンド	21.2%
損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンド	19.6%
損保ジャパン日本債券マザーファンド	8.0%
ISHARES CORE MSCI EMERGING	4.8%

注．比率は第23期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

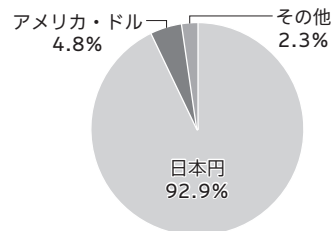
資産別配分



国別配分



通貨別配分



注．比率は第23期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

● 純資産等

項目	第23期末 2023.7.18
純資産総額	21,009,810,852円
受益権総口数	10,090,264,553口
1万口当たり基準価額	20,822円

※ 当期中における追加設定元本額は1,422,792,677円、同解約元本額は875,614,531円です。

● 当該投資信託の組入資産の内容

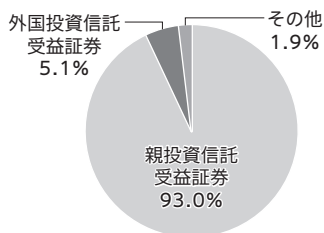
※ 組入銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

組入ファンド

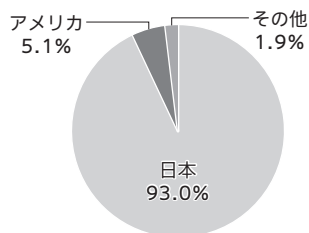
	第23期末 2023.7.18
損保ジャパン日本債券マザーファンド	32.9%
S J AMスモールキャップ・マザーファンド	15.6%
S J AMラージキャップ・バリュー・マザーファンド	15.6%
損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンド	14.7%
損保ジャパンーTCW外国株式マザーファンド	14.2%
ISHARES CORE MSCI EMERGING	5.1%

注．比率は第23期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

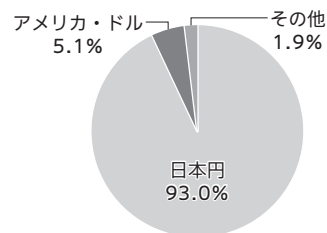
資産別配分



国別配分



通貨別配分



注．比率は第23期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

● 純資産等

項目	第23期末 2023.7.18
純資産総額	24,582,794,992円
受益権総口数	13,267,954,754口
1万口当たり基準価額	18,528円

※ 当期中における追加設定元本額は1,879,507,225円、同解約元本額は1,313,399,096円です。

● 当該投資信託の組入資産の内容

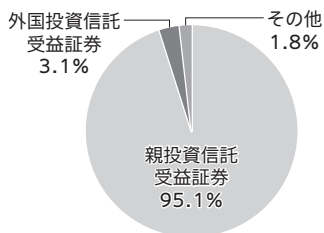
※ 組入銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

組入ファンド

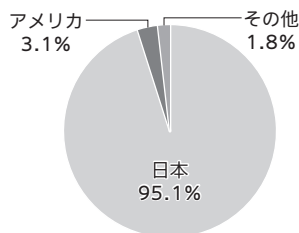
	第23期末 2023.7.18
損保ジャパン日本債券マザーファンド	57.0%
損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンド	10.8%
S J AMスモールキャップ・マザーファンド	9.6%
S J AMラージキャップ・バリュー・マザーファンド	9.6%
損保ジャパンーTCW外国株式マザーファンド	8.1%
ISHARES CORE MSCI EMERGING	3.1%

注．比率は第23期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

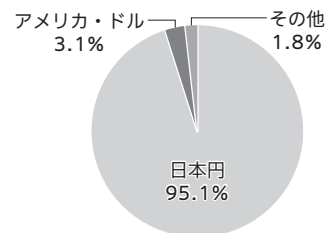
資産別配分



国別配分



通貨別配分



注．比率は第23期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

● 純資産等

項目	第23期末 2023.7.18
純資産総額	10,534,193,457円
受益権総口数	6,593,168,889口
1万口当たり基準価額	15,977円

※ 当期中における追加設定元本額は1,054,270,671円、同解約元本額は767,967,640円です。

● 当該投資信託の組入資産の内容

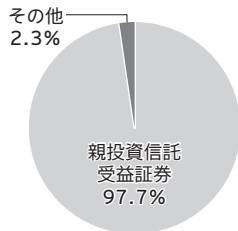
※ 組入銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

組入ファンド

	第23期末 2023.7.18
損保ジャパン日本債券マザーファンド	71.8%
損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンド	15.8%
S J A Mスモールキャップ・マザーファンド	4.1%
S J A Mラージキャップ・バリュー・マザーファンド	4.0%
損保ジャパン-T C W外国株式マザーファンド	2.0%

注．比率は第23期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

資産別配分



国別配分



通貨別配分



注．比率は第23期末における純資産総額に対する評価額の割合です。

● 純資産等

項目	第23期末 2023.7.18
純資産総額	5,407,525,651円
受益権総口数	4,070,613,773口
1万口当たり基準価額	13,284円

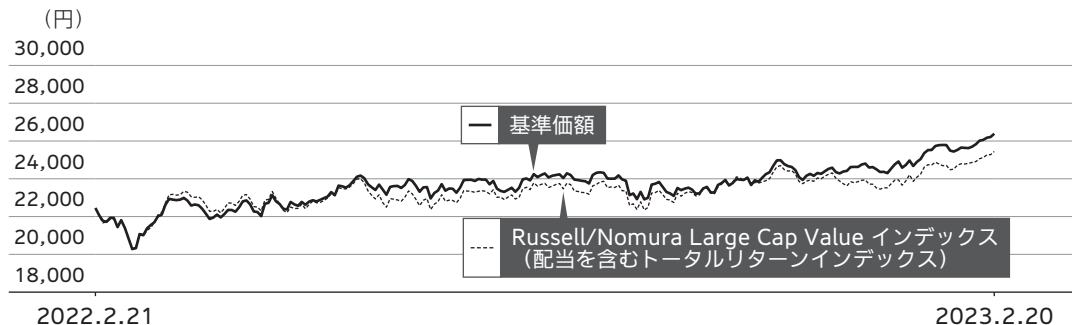
※ 当期中における追加設定元本額は651,604,071円、同解約元本額は697,314,060円です。

● 組入上位ファンドの概要

※ 組入ファンドの計算期間の詳細な運用経過等に関する詳細な情報については、運用報告書（全体版）に記載されています。

● S J A M ラージキャップ・バリュー・マザーファンド

基準価額の推移



- ベンチマーク（Russell/Nomura Large Cap Value インデックス（配当を含むトータルリターンインデックス））の推移は、2022年2月21日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。

1万口当たりの費用明細

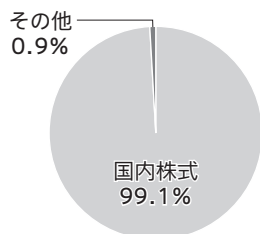
項目	2022.2.22～2023.2.20	
	金額	比率
売買委託手数料	22円	0.091%
(株式)	(22)	(0.091)
その他費用	0	0.000
(その他)	(0)	(0.000)
合計	22	0.091

期中の平均基準価額は23,623円です。

組入上位10銘柄

銘柄名	業種	通貨	国(地域)	比率
1 三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	日本円	日本	7.9%
2 三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	日本円	日本	7.2%
3 キリンホールディングス	食料品	日本円	日本	5.0%
4 アイシン	輸送用機器	日本円	日本	5.0%
5 三井住友トラスト・ホールディングス	銀行業	日本円	日本	4.8%
6 東レ	繊維製品	日本円	日本	4.4%
7 本田技研工業	輸送用機器	日本円	日本	4.2%
8 鹿島建設	建設業	日本円	日本	3.9%
9 マキタ	機械	日本円	日本	3.9%
10 日本精工	機械	日本円	日本	3.8%
組入銘柄数		37銘柄		

資産別配分



国別配分



通貨別配分



注1. 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

注2. 1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については前記（1万口当たりの費用明細の項目の概要）をご参照ください。

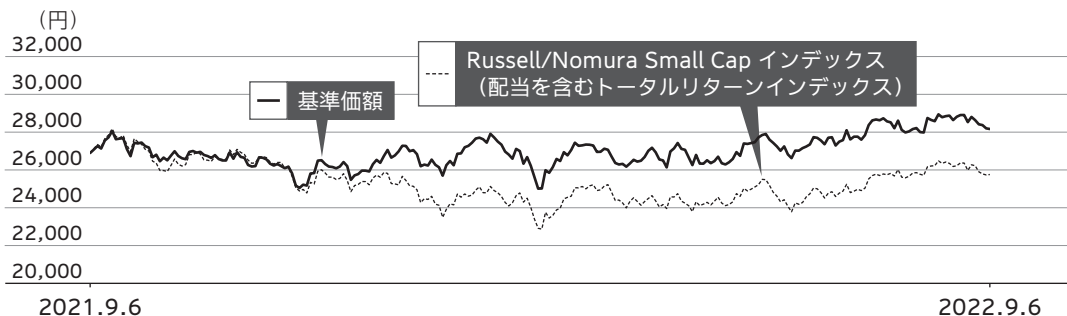
注3. 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日（2023年2月20日）現在のものです。

注4. 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。



S J A Mスモールキャップ・マザーファンド

基準価額の推移



- ベンチマーク（Russell/Nomura Small Cap インデックス（配当を含むトータルリターンインデックス））の推移は、2021年9月6日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。

1万口当たりの費用明細

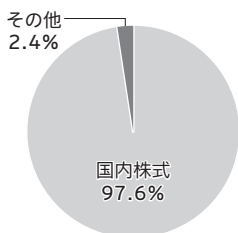
項目	2021.9.7~2022.9.6	
	金額	比率
売買委託手数料	28円	0.106%
(株式)	(28)	(0.106)
その他費用	0	0.000
(その他)	(0)	(0.000)
合計	28	0.106

期中の平均基準価額は26,980円です。

組入上位10銘柄

銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 シチズン時計	精密機器	日本円	日本	4.0%
2 クレディセゾン	その他金融業	日本円	日本	3.1%
3 めぶきフィナンシャルグループ	銀行業	日本円	日本	3.0%
4 E I Z O	電気機器	日本円	日本	3.0%
5 八十二銀行	銀行業	日本円	日本	2.8%
6 森永乳業	食料品	日本円	日本	2.7%
7 日本テレビホールディングス	情報・通信業	日本円	日本	2.7%
8 エン・ジャパン	サービス業	日本円	日本	2.6%
9 伊予銀行	銀行業	日本円	日本	2.4%
10 ワコールホールディングス	繊維製品	日本円	日本	2.2%
組入銘柄数		85銘柄		

資産別配分



国別配分



通貨別配分



注1. 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

注2. 1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については前記（1万口当たりの費用明細の項目の概要）をご参照ください。

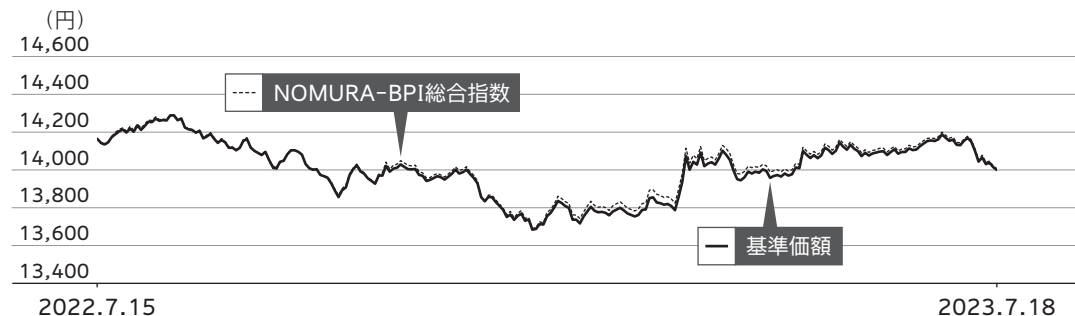
注3. 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日（2022年9月6日）現在のものです。

注4. 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。



損保ジャパン日本債券マザーファンド

基準価額の推移



- ベンチマーク（NOMURA-BPI総合指数）の推移は、2022年7月15日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。

1万口当たりの費用明細

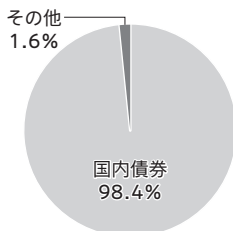
項目	2022.7.16~2023.7.18	
	金額	比率
その他費用	0円	0.001%
(その他)	(0)	(0.001)
合計	0	0.001

期中の平均基準価額は14,011円です。

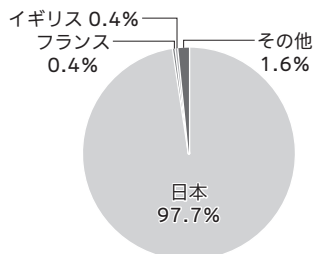
組入上位10銘柄

銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 第360回利付国債(10年)	国債証券	日本円	日本	5.0%
2 第364回利付国債(10年)	国債証券	日本円	日本	4.2%
3 第351回利付国債(10年)	国債証券	日本円	日本	3.4%
4 第151回利付国債(20年)	国債証券	日本円	日本	3.3%
5 第352回利付国債(10年)	国債証券	日本円	日本	3.0%
6 第154回利付国債(20年)	国債証券	日本円	日本	2.9%
7 第150回利付国債(5年)	国債証券	日本円	日本	2.9%
8 第361回利付国債(10年)	国債証券	日本円	日本	2.8%
9 第369回利付国債(10年)	国債証券	日本円	日本	2.5%
10 第368回利付国債(10年)	国債証券	日本円	日本	2.4%
組入銘柄数		107銘柄		

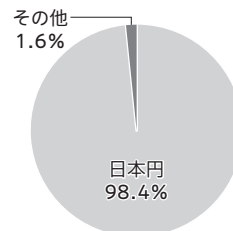
資産別配分



国別配分



通貨別配分



注1. 基準価額の推移は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

注2. 1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については前記(1万口当たりの費用明細の項目の概要)をご参照ください。

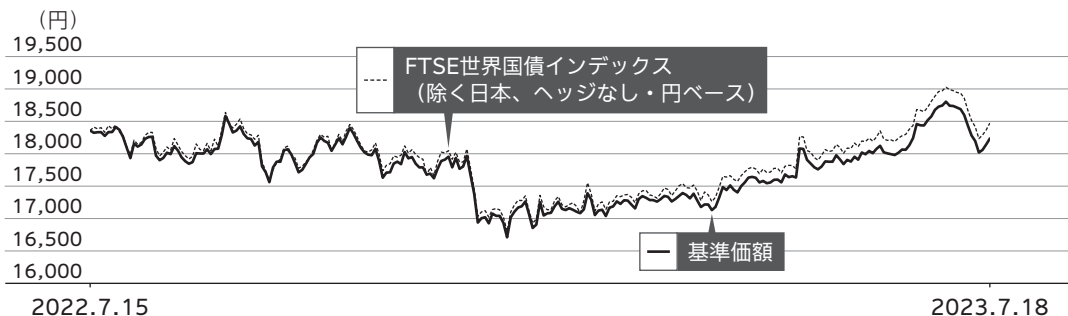
注3. 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日(2023年7月18日)現在のものです。

注4. 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。



損保ジャパン外国債券（為替ヘッジなし）マザーファンド

基準価額の推移



- ベンチマーク（FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース））の推移は、2022年7月15日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。

1万口当たりの費用明細

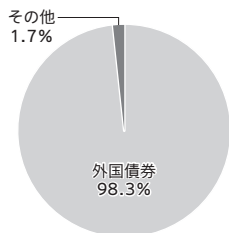
項目	2022.7.16~2023.7.18	
	金額	比率
その他費用	6円	0.032%
(保管費用)	(6)	(0.032)
(その他)	(0)	(0.000)
合計	6	0.032

期中の平均基準価額は17,803円です。

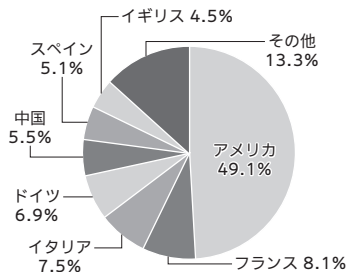
組入上位10銘柄

銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 Treasury 4.125 250131	国債証券	アメリカ・ドル	アメリカ	9.7%
2 Treasury 1.75 291115	国債証券	アメリカ・ドル	アメリカ	4.8%
3 Treasury 4.125 321115	国債証券	アメリカ・ドル	アメリカ	4.7%
4 Treasury 3.125 290831	国債証券	アメリカ・ドル	アメリカ	4.7%
5 Treasury 2.75 280215	国債証券	アメリカ・ドル	アメリカ	3.9%
6 GERMANY 0.0 261009	国債証券	ユーロ	ドイツ	3.4%
7 ITALY 1.45 250515	国債証券	ユーロ	イタリア	3.2%
8 FRANCE 0.0 250225	国債証券	ユーロ	フランス	2.9%
9 Treasury 0.75 260331	国債証券	アメリカ・ドル	アメリカ	2.5%
10 Treasury 1.75 410815	国債証券	アメリカ・ドル	アメリカ	2.1%
組入銘柄数		139銘柄		

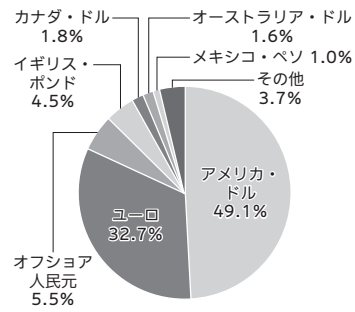
資産別配分



国別配分



通貨別配分



注1. 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

注2. 1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については前記（1万口当たりの費用明細の項目の概要）をご参照ください。

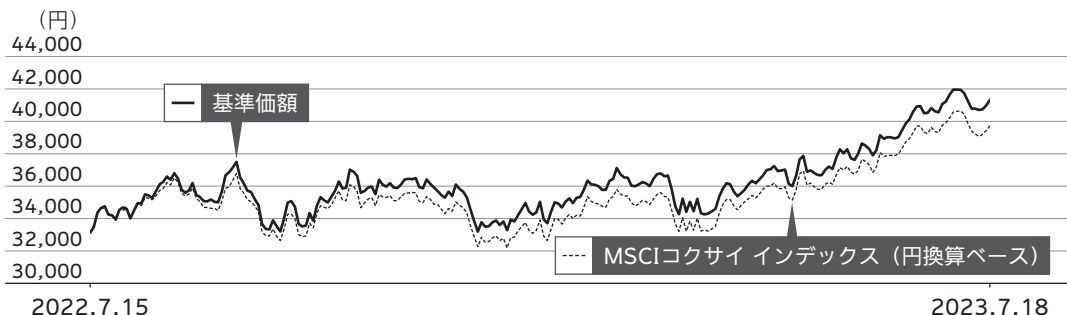
注3. 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日（2023年7月18日）現在のものです。

注4. 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。



損保ジャパン－TCW外国株式マザーファンド

基準価額の推移



- ベンチマーク（MSCIコクサイ インデックス（円換算ベース））の推移は、2022年7月15日の基準価額をもとに委託会社にて指数化したものを使用しております。

1万口当たりの費用明細

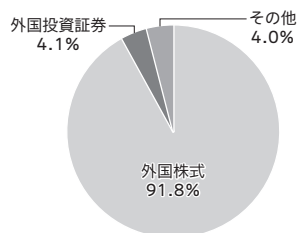
項目	2022.7.16～2023.7.18	
	金額	比率
売買委託手数料	12円	0.034%
（株式）	(11)	(0.031)
（投資信託証券）	(1)	(0.003)
有価証券取引税	2	0.006
（株式）	(2)	(0.006)
（投資信託証券）	(0)	(0.000)
その他費用	18	0.049
（保管費用）	(17)	(0.048)
（その他）	(0)	(0.001)
合計	32	0.089

期中の平均基準価額は36,134円です。

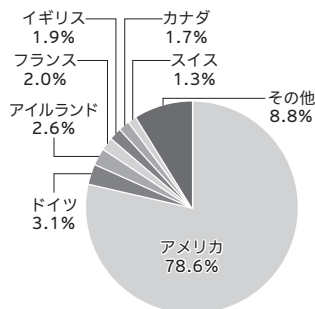
組入上位10銘柄

銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率	
1 MICROSOFT CORP	ソフトウェア・サービス	アメリカ・ドル	アメリカ	4.2%	
2 VISA INC-CLASS A SHARES	金融サービス	アメリカ・ドル	アメリカ	3.0%	
3 TRADE DESK INC/THE -CLASS A	メディア・娯楽	アメリカ・ドル	アメリカ	2.6%	
4 FISERV INC	金融サービス	アメリカ・ドル	アメリカ	2.5%	
5 ORACLE CORPORATION	ソフトウェア・サービス	アメリカ・ドル	アメリカ	2.3%	
6 NVIDIA CORP	半導体・半導体製造装置	アメリカ・ドル	アメリカ	2.2%	
7 S&P GLOBAL INC	金融サービス	アメリカ・ドル	アメリカ	2.2%	
8 LINDE PLC	素材	アメリカ・ドル	アイルランド	1.8%	
9 MASTERCARD INC-CLASS A	金融サービス	アメリカ・ドル	アメリカ	1.7%	
10 MSCI INC	金融サービス	アメリカ・ドル	アメリカ	1.7%	
組入銘柄数		228銘柄			

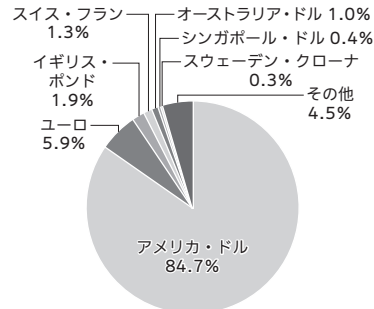
資産別配分



国別配分



通貨別配分



注1. 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

注2. 1万口当たりの費用明細は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。なお、費用項目については前記（1万口当たりの費用明細の項目の概要）をご参照ください。

注3. 組入上位10銘柄、資産別・国別・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日（2023年7月18日）現在のものです。

注4. 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

● 指数に関して

当ファンドのベンチマークについて

個別資産毎のベンチマークを基準資産配分比率で加重平均したもので個別資産毎のベンチマークは次の通りです。国内株式：東証株価指数（TOPIX）、国内債券：NOMURA-BPI総合指数、外国債券：FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）、外国株式：MSCIコクサイ インデックス、（円換算ベース）、エマージング株式：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（円換算ベース）、短期資産：有担コール翌日物

「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

■ 東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

■ MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

■ MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）

MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、米ドルベース）をもとに委託会社が独自に円換算しています。なお、MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

■ NOMURA-BPI国債

野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA-BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ & コンサルティング株式会社に帰属します。

■ FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

■ JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ベース）

J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイドに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

ホームページにて各ファンドの詳細をご案内しております。

検索

それぞれのファンド名をご入力下さい。

ハッピーエイジング20

<https://www.sompo-am.co.jp/fund/0883/price.html>



ハッピーエイジング30

<https://www.sompo-am.co.jp/fund/0884/price.html>

ハッピーエイジング40

<https://www.sompo-am.co.jp/fund/0885/price.html>

ハッピーエイジング50

<https://www.sompo-am.co.jp/fund/0886/price.html>

ハッピーエイジング60

<https://www.sompo-am.co.jp/fund/0887/price.html>

各書類の最新版をご確認いただけます。

交

交付目論見書

当ファンド購入に際して投資判断に必要な重要事項をご説明しております。

運交

交付運用報告書

当ファンドの運用状況について重要な事項をご説明しております。

休

海外休業日 (申込不可日)

購入・換金の申込不可日をご案内しております。

請

請求目論見書

交付目論見書より詳細な当ファンドの情報をご説明しております。

運全

運用報告書 (全体版)

交付運用報告書より詳細な運用状況をご説明しております。

販

販売用資料

目論見書を補完する内容をご説明しております。交付目論見書と併せてご覧ください。

月

最新月次レポート

当ファンドの運用状況を月次でご説明しております。

本報告書作成時点のものを掲載しております。